

中国地域ニュービジネス優秀賞

表彰事業

木質チップを燃料とした「バイオマス発電事業」

真庭バイオマス発電株式会社

代表取締役 なかしま こういちろう
中島 浩一郎



受賞理由

「再生可能エネルギー固定価格買い取り制度」により、電力の買い取りが20年間保障されたため、全国各地で発電所が稼働し始めているが、その中でも、真庭バイオマス発電所は、間伐材などを主燃料とする木質バイオマス発電所では国内最大級(出力1万キロワット)である。山林に放置され山林荒廃の原因ともなっていた「未利用木材」と製材所などから出る端材や樹皮といった「一般木材」を発電所へ燃料として安定供給するため、「木質資源安定供給協議会」が設立され、木材を無駄なく使い切る官民一体の取り組みが、地域への経済的波及効果を高めている。木材の買い取り額とは別に1トン当たり500円を山林所有者へ支払う制度を導入したことで、所有者が山を手入れする意欲が高まる副次的効果も出ている。目標達成に3年を見込んでいたが初年度でクリアする勢いであり、官民あわせて発電事業を支える先進的な取り組みが評価され、国内外から視察が相次いでいる。今後は、地域新電力を通じて、真庭市役所、及び多目的ホールへの電力供給や、同じ産業団地のCLT工場に木材乾燥の熱源として使用する蒸気を供給(販売)する予定である。

ポイント

- ・地元から主燃料となる木質チップを安定的に調達する官民一体となったシステムが構築されていることから、安定的な発電と収入が確保できている。
- ・発電所事業が、林業活性化による森林保全だけでなく、中山間地域の雇用創出やバイオマスツアーによる観光事業へと波及し、地方創成の一端を担っている。
- ・森林保全に役立つ発電所や再生可能エネルギーの意義を理解する市民が増え、エコ意識の浸透に貢献している。

受賞企業からの一言

この度、林野庁、岡山県、真庭市や関係の皆様方のご支援を得て、真庭地域を中心とした10団体の参画により、「真庭バイオマス発電株式会社」を設立し、「真庭バイオマス発電所」を竣工いたしました。真庭地域は早くから関係者の連携・協力のもと木質バイオマスの利活用推進に取り組み、平成18年にはバイオマスタウン真庭として認定され、その後もさまざまな基盤整備や普及啓発などの事業展開を図って参りました。この事業では「再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度」の施行により間伐材など未利用材の評価を高くできることから、新たなバイオマス産業の創出と林業・木材産業の活性化、雇用の創出・拡大、さらには森林機能の回復、温暖化防止、循環型社会の形成、観光振興、中山間地域の活性化など多くの効果をあげるものと確信しております。

推薦団体 (株)中国銀行 久世支店

| | | | |
|-------|-----------------------|-------|--------------------|
| 会社所在地 | 〒719-3324 岡山県真庭市目木1-1 | | |
| T E L | 0867-45-7551 | U R L | - |
| 会社設立 | 平成25年2月 | 従業員数 | 6名(平成28年4月12日現在) |
| 資本金 | 250百万円 | 売上高 | 2,100百万円(平成28年6月期) |

真庭バイオマス発電株式会社の概要

